

## 第362回研究報告会「近代期天理教と哲学：高崎倫常の神学思想形成におけるカント哲学の影響について」（10月24日）

ジェレミー・ウッド

本報告は、近代期に活動した天理教教学者（神学者）の高崎倫常（1859～没年不明）の有神論、特に神の存在証明に関する議論に着目し、彼の神学思想形成におけるカント哲学の影響について検討しようとするものである。

倫常は東西の宗教や哲学に造詣が深く、彼の教学研究の集大成である『天理教神学』第一部「基礎神学」において、哲学的観点から神の存在証明をめぐる論を展開している。彼の哲学的立場は、基本的にカントの認識論に立脚するもので、理性のみによって物自体を認識することや神の存在証明は不可能と考えている。

しかし、倫常はカントの認識論に問題があると指摘し、人間側から神の存在証明ができなくとも、神の方から啓示を受けることにより、人間は神の存在を確信することができるかと主張する。倫常によれば、神の存在証明は人間の有限なる知識・理性によってできるものではない。教祖のひながたの道を辿る自身の宗教的体験によって、神の存在を確信することができる。倫常は、このようにカントの哲学的課題を神学的に解決しようとした。

## スペインでの国際会議に参加（11月16～18日）

澤井 真

スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラ大学（天理大学の姉妹校）で開催された第18回国際哲学会議に参加し、発表を行った。会議のメインテーマは、「世界地図からみた哲学—グローバル世界においてナショナル・フィロソフィーについて考える」であった。筆者は2日目午前中の日本哲学のセッションで発表した。会議では、フランスやポルトガルなどの国から参加した研究者が登壇し、それぞれの国で論じられてきた「哲学」を、いかにグローバル世界のなかで位置付けていくのかが論じられた。とりわけ、日本哲学のセッションでは、「哲学」という欧米由来の言葉をいかなる仕方で用いるのか、日本における思想伝統において「哲学」という語が果たす役割が論じられた。

なお、天理関係者の参加は以下の通りである。

澤井義次（天理大学名誉教授）

アルバ・イグレシアス（元天理大学研究生）

高橋美奈子（サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学大学院・2024年度に天理大学おやさと研究所にて研究予定）

フレデリコ・オリヴェイラ（サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学大学院・天理大学交換留学生）

ファン・ロペス（天理大学国際学部）

澤井努（広島大学人間社会科学研究所）

澤井真（天理大学おやさと研究所）

## 2023年度宗教研究会を開催（11月28日）

## 「アヴラム・デヴィッドソンのキプロスとトルコへの旅」

オックスフォード大学教授でトルコ文学を専門としているローラン・ミニョン氏が、表記タイトルにて発表した。アヴラム・デヴィッドソン（1923～1993）は世界的に著名なSF作家であり、彼の作品は日本語にも翻訳されている。彼はユダヤ教正統派の家庭で生まれ育ったが、晩年は天理教に改宗して生涯を終えたことで知られている。彼は同じ場所に留まることを好まず、世界各地を旅しながら自らの作品の着想を得た。

とりわけ、キプロスへの旅は、彼にとって重要な役割を果たしていた。というのも、キプロスは、オスマン朝の支配地域として多くのムスリムが暮らすとともに、第2次世界大戦中からイスラエル建国までのあいだ、イギリス領として5万人ものユダヤ教徒が難民として暮らしていたからである。ギリシア系・トルコ系キプロス人や、アルメニア人やアラブ人が入り混じる他民族的な状況下にあったトルコやキプロスの旅の知見を、デヴィッドソンは自らのSF文学作品の中に織り込んでいったのである。（澤井真 記）

## 2023年度公開教学講座のご案内

## — 信仰に生きる『逸話篇』に学ぶ（9） —

2023年度の公開教学講座は、以下の日程でオンライン配信いたします。

第1回 6月 井上昭洋所長

167話「人救けたら」

第2回 7月 尾上貴行研究員

168話「船遊び」

第3回 9月 金子昭研究員

122話「理さえあるならば」

第4回 10月 澤井治郎研究員

146話「御苦労さん」

第5回 11月 島田勝巳研究員

165話「高う買うて」

第6回 1月 堀内みどり主任

113話「子守歌」

グローバル天理

第25巻 第1号（通巻289号）

2024年（令和6年）1月1日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion  
Tenri University

発行者 井上昭洋

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>E-mail [oyaken@sta.tenri-u.ac.jp](mailto:oyaken@sta.tenri-u.ac.jp)

印刷 天理時報社

Printed in Japan